

第7回WISPJマイクロ班研究会 議事録

2008年10月7日(火)

13:30~16:00

場所:早稲田大学 26号館 13F 演習室

出席者(敬略称)

政治経済学術院: 寄本・鄭

社会科学学術院: 赤尾

環境総合研究センター: 増原・土江

1. 開会

土江より本日の議事内容について説明がなされた。

2. 前回議事録確認

土江より前回議事録の説明がなされた。

3. 各研究者よりの研究進捗状況

増原より環境モデル都市の各自治体(6都市)におけるアクションプラン・進捗状況について報告がなされた。今後の検討課題は以下の通り。

- ・モデル都市事業と自治体の既存計画との整合性
- ・環境事業の政策の有効性についての評価
- ・国庫補助の動向
- ・その他候補都市(7都市)の動向



研究会の概観

鄭より日韓の廃棄物における地方公共団体の政策と問題について報告がなされた。

- ・容器リサイクル法を巡る政策(日本)
 - ・環境問題において地方分権がどのように行われているかまたその問題は何か(韓国)
- 以下今後の検討課題。
- ・中央集権と分権の間の問題、国内政策だけでは解決できない問題

4. 参考資料紹介

赤尾より予防原則理論について説明がなされた

5. 閉会

次回研究会について12月22日（水）16：30～と確認された。